

～地域をきれいに保つ陰の立役者～ 板倉町生活環境推進員



生活環境推進員ってどんな人たちでどんなことをしているの？

私たち、生活環境推進員は、各行政区から選出されたボランティアです。町全体では115人が町長から委嘱され、ごみの減量と快適な生活環境の保全を図るべく、各行政区の実情に応じて活動しています。

主な役割は、ごみステーションの清掃や、分別指導、違反ごみとして回収されなかったごみの処理、地域の清掃活動の実施です。



具体的にはどんな活動をしているの？

【令和6年度の主な活動を紹介します】

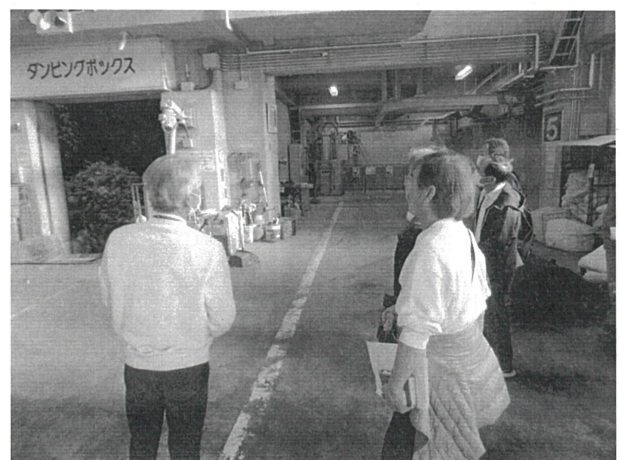
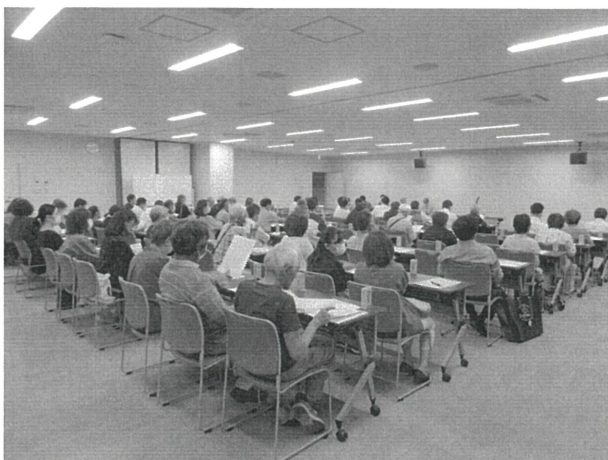
■各ごみステーションの違反ごみの再分別

多くのかたが、ルールを守った適切なゴミ捨てを心がけてくれますが、中にはルールを守らないかたもいます。そのようなごみは収集されませんので、再分別をしたり、処理施設に持ち込んだりしています。とても大変な作業ですので、ルールを守ったごみ出しにご協力をお願いします！



■研修会やごみ処理施設の視察

毎年、年度初めに研修会を実施し、推進員の役割や分別方法の再確認を行っています。また、板倉町のごみの処理方法や処理にかかる費用、ごみを減らす方法などを学んでいます。令和4年度には、ごみ処理に約1億9千万円もの税金がかかっていることを知り、ごみを減らすことで、かかる税金も減らすことができることを学びました。11月には、たてばやしクリーンセンターといたくらリサイクルセンターを視察しました。効率よく処理をするには、分別が必要だと知り、分別の重要性を再確認しました。





令和6年度は他にどんな活動をしたの？

■フードドライブの実施

フードドライブとは、家庭で余っている食べ物を持ち寄り、それらをまとめて団体やフードバンクに寄贈することで、福祉施設や生活困窮者に無償提供する取り組みです。

フードドライブは、食品廃棄物の発生抑制になることから、ごみの減量化につながります。

11月に開催された福祉まつりにてフードドライブが実施されたことから、趣旨に賛同し、役員にて受付業務を行いました。

合計で245kg、74名のかたからご協力をいただくことができ、廃棄されてしまうはずだった食品を必要とするかたに提供することができました。



【工夫をこらした行政区の紹介】

■第1行政区 植物の設置

ごみステーションをきれいに使ってもらうことを目的に、第1行政区では、ごみステーションの前にハーブを設置することを計画しています。

ハーブをごみステーションに設置することで、清潔感が増し、きれいな状態を維持することが期待できます。また、いい香りがするほか、虫除け効果も期待できます。



■第6行政区 ごみステーションの施錠

ごみステーションに乱雑にごみ捨てられてしまい、いつも汚い状態で困っていました。区長さんの働きかけもあり、ごみステーションにカギをかけることとなり、生活環境推進員にてカギの当番を担っています。

以前はいつでもごみを出せる状態でしたが、カギをかけて以降、地域のみなさんが出す日を守るようになり、とてもきれいな状態になりました。

※右の写真は、カギをかける前の状態です。



みなさんにお願ひ

ごみは「きたない」「くさい」と敬遠しますが、生活のうえで必ず出るのであり、誰にとっても身近な存在です。だからこそ、みなさんが少しでも意識をしてごみ出しをすることで、ごみは減り、町をきれいに保つことができます。

引き続き、みなさんのご協力をよろしくお願ひします！

作 成：板倉町生活環境推進協議会
お問い合わせ：板倉町役場住民環境課 環境下水道係
電話：82-6132